神戸大学グリークラブ
令和３年度　　会報

神戸大学グリークラブ

神戸市灘区六甲台町 1-1

目次

ご挨拶

グリークラブ顧問　阪上　公博・・・・・3

OB 担当　清水　蒼太・・・・・5

OB 様方からのご寄稿文

『コロナ下の日常』　宮元　芳樹・・・・・6

『吉永豊彦さん（B・１７回生）の思い出』　永井　哲郎・・・・・7

『六甲男声合唱団だより』　前田　豊治・・・・・10

現役活動報告　・・・・・12

2019・2020 年度 会計報告　・・・・・14

寄付金の振込先・住所変更、お問い合わせについて　・・・・・15

２０２１年１０月２７日

神戸大学グリークラブ
OB のみなさま

ごあいさつ，近況報告

拝啓，９月末をもって緊急事態宣言も解除となり，まだ油断はできないものの，やや平穏な日々の中，晩秋の候となりました．みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか.

平素は神戸大学グリークラブをご支援いただき，誠にありがとうございます.
ご承知の通り，本年度はコロナ禍のため，同窓会等の開催も中止となったとのことで，HP 上で近況報告に加えて，寄付のお願いをいたしましたところ，実に多数の方々からご寄付をいただき，本年度の活動を続けることが出来ております．まずは略式ながら本文をもって厚くお礼を申し上げます．いただきましたご寄付のおかげをもちまして，本年度の定演の開催を始め必要な経費を賄うことが出来るようになりました．誠にありがとうございます.

〇近況のご報告
昨年の定演終了後，４年生が卒業し，現在は６名の団員（全員３年生）で活動しております．昨年は活動できなかった学生で復帰したものもあり，昨年より小規模ながらも，定演開催に向けて練習に励んでおります.

さて，学内の状況も含めて，本年度の様子をお知らせいたします．本年度は４月から９月末までのほとんどの期間にわたって緊急事態宣言が発出され，また６月末までは県知事の要請により課外活動が禁止されておりました．７月からは，ようやく課外活動の再開が認められましたが，厳しい制限の上でのことであり，７月上旬に予定しておりましたはサマーコンサートをは，練習時間が確保できないためやむなく中止といたしました.

練習とは別の面で申しますと，昨年同様に大きな問題は，対面での新入生勧誘が認められていなかったことです．また，多くの授業がオンラインのため学内にも学生が少ないため，新入生勧誘がほとんどできません．団員諸君が工夫して，SNS やネットを利用した勧誘は続けてきていますが，現時点では実質的な成果が出ていません．この点，小職からも学務部へ協力を要請しています．何らかの催事ができれば，大学の公式 SNS から情宣の協力はできるとのことですので，引き続き協力を呼び掛けておりましたところ，全課外活動団体を対象として１０月下旬に「秋新歓」が制限付きながら対面とオンラインで実施され，ある程度の勧誘活動が出来ました.

大学の方針としては，現在は授業の実施方法（オンラインか，対面か）については，各学部の判断に任せられており，多くの学部では少人数科目を除いてオンラインが中心です．この

状態がいつまで続くかによりますが，新入生の勧誘活動については，引き続き課外活動担当部署へ協力を要請したいと考えております.

以上，本年度の現在までの事情と経緯をご説明申し上げました．新入生が集められないこと，また OB のみなさまとの交流ができないなど，本年度も昨年に引き続き，残念ながら「できないこと」が目立ってしまう状況ではあります．活動を継続するには人と資金が必要ですが，人については，新入生勧誘が不可欠であり，これは大学に学生が戻ってくるのを待たなければならない面もございます.

しかしながら，練習などの通常の活動についての制限はある程度緩和されており，通常練習は定期的に続けております．今年の定演は，１２月１８日（土）に灘区民ホールマリーホールにて開催の予定であり，定演に向けて練習に励んでおります．これについては，また改めてご案内申し上げます.

一方，財政面では，冒頭にお礼申し上げました通り，多数のご寄付をいただきましたので，当面は活動には支障なく，ありがたく存じております．新入生の勧誘についての支障がまだ完全には解消しておらず，人材面では厳しいとはいえ，活動に必要な資金は十分となり，誠にありがたく存じております.

本来でしたら，OB 会などでお目にかかった折に直接お話してお願いしたいことばかりではございますが，この状況ではそれもかないません．どうぞご理解の上，引き続きご支援ご協力いただきますよう，よろしくお願い申し上げます.

末筆ながら，みなさまのご健康をご祈念申し上げます.

敬具

神戸大学グリークラブ顧問・技術顧問
阪上公博（工学部教授，T82）

神戸大学グリークラブ OB 担当

法学部　3 回生　清水蒼太

OB 様方におかれましては平素より神戸大学グリークラブへ格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。今年度も引き続き OB 担当を務めます清水蒼太と申します。至らない点が多々あると思いますが何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ようやくコロナウイルスの感染者数が落ち着いてきた今日この頃ですが、昨年から今年にかけてクラブの活動に大きな影響を及ぼしました。昨年と今年、どちらもジョイントコンサートを予定していたのですが大学からの通達で他大学との合同練習を実施することができず、中止せざるを得ませんでした。また今年も 5 月から 6 月中旬にかけて、緊急事態宣言が発令された影響で練習を実施することもできませんでした。そのような中でも、OB 様方のご支援もあり昨年は 12 月になんとか定期演奏会を開催することができました。OB 様にも何人かお越しいただき、演奏を披露することができました。ありがとうございました。

6 人という少人数での演奏会ということで、2019 年度の 17 人での演奏とは違う点が多々あり、戸惑うとともに、各パート 1 人か 2 人ということで一人一人の責任が増し、苦労しました。私のパートは常に 2 人いたのですが、曲によってはディビジョンがあったり、また練習の段階では日によって 1 人だけということもあったりなど、同じ音の動きをしている人がおらず、他のパートにつられるということが多くなりました。一人で歌ってみるといかに自分の音取りが不十分であったかということがよくわかりました。私は大学に入ってから合唱を本格的に始めたのですが、2019 年度はたくさんの先輩方とともに合唱したので、「歌えている」と自分では思っていました。しかし、昨年度の少人数での合唱を経験した上で、いま思い返してみると歌えている気になっているだけで実際には、同じパートの人に頼る部分がかなり多かったのだと気づきました。昨年に引き続き、今年も少人数での合唱となるため一人でも歌えるよう試行錯誤しながら練習をしています。

最後に、今年度の会報の発行が大変遅くなってしまい申し訳ございません。ご寄稿いただきました OB の皆様、誠にありがとうございました。また、今年の夏にご寄付をお願いした際には、本当にたくさんのご寄付を賜り、OB 様のグリークラブへの愛情を改めて感じました。OB 様のご支援・ご協力のおかげで会報だけではなく、神戸大学グリークラブの様々な活動を行うことができます。改めて御礼申し上げます。今後とも変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

コロナ下の日常

令和３年７月３０日

経営学部１８回生　宮元　芳樹

昨年３月から、殆どの活動が制約を受けて、今日にいたるまでその状況が続いており、自粛疲れというより、逼塞生活の日常化が特に我々高齢者に浸透し、体の方でこの生活に馴染んできているのではないかとさえ思えてきました。

７０歳になって、週２回の合唱の練習以外に、ルーテインがない日々を過ごしていたのですが、昨年３月から突然のコロナ禍で、このルーテインも無くなり、また地元地域での活動も殆どが休止状態となり、３密を避けるため人との交流は出来るだけ避けるということになり、まさに２４時間悠々自適の生活に、好むと好まざるにかかわらず入った訳です。
一方で、この１年半足らずで、ZOOM の飲み会とか、ZOOM 合唱の練習とか新しいコミュニケーションの方法に習熟し、また健康維持のために、兎に角近所を歩きまわるため、もはや知らない路地はなく、あの角地の家の庭にはあの木が植えてあり、あんなところに永代供養の墓地が売り出しているなど、地域のニッチ情報に精通するようになりました。
また、やることがないのと、短期記憶力の減退回避のために簡単な日記代わりのスマホのメモ機能の利用や、数十年来の本や衣類など要らないものの整理や、こんなことでもなければ絶対作らなかっただろうと思える終活ノートなどなど。
こうして世のため、人のためでない純粋に自分だけのために時間を過ごしており、逆説的ではあるが、悠々自適とか晴耕雨読とか、本来老人というのはこういう生活をすることを目標としていたのではないか、などと思えてきている今日この頃です。
特に、散歩の友に始めた、NHK ラジオの「古楽の楽しみ」や聞き逃しサービスで聞く「新日曜名作座」「古典講読」「宗教の時間」「カルチャ―ラジオ～文学、芸術、歴史、昭和史」
などは、今度あの本を読んでみようかとか、昔分からなかったのはこういうことだったかなど、自分の中で結構選好順位の高いアイテムになっています。

閑話休題
残念ながら東京六甲男声合唱団は、昨年３月の第８回定演を２回延期したのですが、それも断念、現在は、第８回用の楽曲はすべて記憶のなかにとどめ、来年秋の第９回定期演奏会用の新しい曲のための ZOOM 練習をやっています。
現役の皆さんがコロナ禍にもかかわらず昨年１２月には厳しい感染対策の元、７名で定期演奏会を開催されたとのこと、若者の勇気と情熱に羨ましさを感じました。新人の勧誘もできない状況の中で、奮闘されているとのことで、何とか伝統ある神戸大学グリークラブを発展させていっていただきたいと願っております。

吉永豊彦さん(B･17回生)の思い出

２０２１．７．２３

永井　哲郎（B・２０回生）

　吉永さんは２０１９年８月に、すい臓がんによりお亡くなりになりました。

当初、その年の５月に腸閉塞の手術の後、病院にお見舞いに伺いました。

まだ、痛みが残っているようだったので、見舞いも早い目に切り上げました。

その後、自宅に戻られたと伺って、一安心していたところ、８月に、突然の訃報とすでに家族葬を済ませた旨、息子さんより連絡をいただきました。

大変驚きました。

六甲男声はこの年は、旧三商大の交換演奏会が１０月に開催されましたので、１１月２日に六甲男声の有志、１７名が集まり、息子さんが店長をされていた木曽路上本町店でしのぶ会を行いました。

まずは出会いから書き始めます。

神戸大グリークラブに入部したのが昭和４３年【１９６８年】、１年生にとって

当時の４年生は雲の上の存在､話しかけることすらできません｡しかもパートも違っていました。

その４年生の一人が吉永さんでした｡心安く話ができるようになったのは､グリーの関西地区 OB 会に参加するようになってからだったと記憶しています。

吉永さんは富士銀行に就職され、支店長も経験された後、銀行を辞め、個人コンサルタント業をはじめられました。その時にも何回かお会いしたことがあります。

２０１４年、私が六甲男声合唱団に入団した同じころ、吉永さんも再入団されてきました。

学生時代の思いとは違って、大変フランクな付き合いが始まりました。

練習終了後の飲み会は若手中心でしたが、ずーと一緒にビールやら、ワインを酌み交わしていました。２０１６年年末の練習のあと、いつもの居酒屋に集合して、一杯始めていましたが、その中の一人が、海外に演奏旅行をしませんかとの提案をしました。

翌年の１月の運営委員会で、海外演奏計画が承認され、行き先を台湾に絞って具体的に動き出し始めました。
この台湾演奏旅行のチーフが吉永さんです。台湾の団体との連絡担当が小生で、会計担当が佐々木さんで、この３名が中心になって、台湾演奏旅行を計画・実行しました。

台湾に知り合いのいる団員のうち、団内指揮者の田中安夫さんのルート、バリトンの伊原吉之助さんのルート、そして小生の神戸大学同窓会台北支部のルート、最終的には、田中さんの知り合いで台湾の指揮者の蘇慶俊先生が中心になってこの台湾演奏旅行が進み始めました。伊原さんのルートの静宜大学の曾先生にも協力いただきました。

２０１７年の１１月、吉永さんはじめ３名で現地での打ち合わせを行ってきました。
その時、日本語が苦手な蘇先生に対し、吉永さんは英語を駆使して会話をされ、たくましく思ったものです。大部分の通訳は、蘇先生が指揮をされている Formosa Singers の団員の東呉大学４年生の唐萬欣さんがやってくれ、また、本番では司会から、通訳から案内まで何でもやってくれました。その唐さんは２０１９年４月に同志社大学に留学をして、京都に住んでいましたので、六甲の練習にも来てもらいましたが、吉永さんは、ご自身も団員のアイヴィコール（混声合唱団）の練習に参加するようにいわれ、何回か練習にも参加したようです。

本番は２０１８年１０月１２日から１５日までの３泊４日
台風２１号による関空の閉鎖や連絡橋の破損で台湾に飛行機が飛ぶかどうか直前までわかりませんでした。関空の機能回復で無事に台湾に行くことができました。
台北では、吉永さんが中心になって、団員や家族が「青梅子」での懇親会を開催しました。
また、演奏会の終了後は、宿泊先のホテルの一室に１５名が集合、普段話さない団員との交流が進みました。
１３日は新竹市の教会での新築愛楽合唱団とのジョイント、１４日は新北市芸文センターで Formosa　Singers と喜悦女声合唱団とのジョイント演奏会を成功裏に終わることができました。

もう一つの思い出は、２０１８年１月の大阪倶楽部での演奏会です。この演奏会は吉永さんが、運営委員会に諮って実現したのですが、大阪倶楽部では、男声合唱の演奏を聞くのが初めての方がたくさんおられました。日本の名曲集とヨハンシュトラウスの「美しき青きドナウ」を演奏しました。

２０１８年の定期演奏会では、「みんなで歌いましょう」を計画して、指揮をして会場を大いに盛り上げていただきました。これからも続けていきたいものです。

また、我々若手を、練習の始まる前に事務所に集め、発声指導やら曲の練習に時間を割いていただきました。この中から、数人は一人立ちするまでに成長しています。

吉永さんいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。安らかにお眠りください。合掌。

六甲男声合唱団だより

E18 回生　前田　豊治

一昨年の会報に「六甲男声合唱団だより」と題して投稿させていただいてから 2 年が経過しようとしています。この 2 年間は六甲男声にとっては何とももどかしい 2 年間でした。

初めの半年は以下のとおり　ほぼ予定どおりかつ盛況裏に終えることができました。

令和元年 9 月 7 日　神戸大学グリークラブ関西 OB 会が、学友会大阪クラブで開催され、OB 参加者 31 名のうち 17 名が六甲男声合唱団員でした。現役学生 13 名が招待され、3 曲の合唱披露と定演の案内や寄付の依頼がありました。

１０月 5 日　六甲男声主催の「第 9 回旧三商大 OB 男声合唱団交換演奏会」が、神戸文化ホール・大ホールで開催され、六甲男声は東京六甲男声とともに、デュオーパ作曲「荘厳ミサ」を井上和雄の指揮で、また合同演奏は、ミュージカル「ラ・マンチャの男」を当団の平林陽指揮で演奏し、万雷の拍手を頂戴しました。

１２月 14 日　女声合唱団「クール・フレール」の定期演奏会に賛助出演。井上和雄指揮で、デュオーパ作曲「荘厳ミサ」を演奏。（当然旧三商大の演奏よりも上出来で）

１２月 21 日　香櫨園の「カクチーノ」にて家族忘年会。腕自慢、のど自慢の独奏、独唱あり、ダブルカルテットあり、最後は全員合唱で大盛り上がり。

令和 2 年 1 月 28 日　団員総会。前年度の総括、会計決算と新年度のスケジュールと役員改選を承認してスタート。

とここまではよかったんですが、令和 2 年 2 月 25 日の定時練習を最後に、コロナ感染拡大防止のため練習は中止となり、諸行事も中止のやむなきに至りました。

令和 2 年 10 月 20 日から、厳格な感染防止対策を講じて、有志による定時練習を再開しましたが、11 月 17 日までで再度練習を中止しました。久しぶりに顔を合わせたメンバーと再会を喜び合ったも

のです。

令和 3 年 3 月 2 日から再度有志による定時練習を再開しましたが、またしても「緊急事態宣言」のため 1 か月で練習中止に追い込まれました。

令和 3 年 7 月末には団員 45 人中４１人が 2 回目のワクチン接種完了見込みとなったため 8 月 3 日より西宮市の夙川公民館での練習再開を決めていましたが、8 月 2 日から兵庫県では「まん延防止等重点措置」が、また大阪府では「緊急事態宣言」が適用されることになり、またまた練習中止のやむなきに至りました。

今年の定期演奏会は先に中止を決めており、唯一の予定行事　10 月 16 日「島崎央子ピアノリサイタル」への賛助出演を目指して「魅惑のスクリーンミュージック」の練習を続けてきたわけですが、最近の感染状況では賛助出演もどうなりますことやら。

六甲男声では次の取組曲として「チャイコフスキー歌曲集（原語)」が決まっています。楽譜は昨年の 11 月に配布されましたが、その練習はまだほとんどできていません。そんななかでも松井嘉和さんはロシア語の発音の研究をされていて、わかりやすく表記したものを団員全員にメール送信してくださっています。また桐ケ窪卓さんは曲別にテナーとバスの音源をメール送信してくださいました。今後希望者には CD 化もしてもらえるそうです。

この時期コロナウィルス感染には細心の注意をはらい、用意してもらっている様々なツール
を活用し自習に励みたいものです。焦ることなく、時の来るのを気長に待ちましょう。

現役活動報告

昨年度も OB の皆様方に多大なるご支援・ご指導を賜りまして誠にありがとうございました。部員一同、厚く御礼申し上げます。

第 72 回定期演奏会

2020 年 12 月 5 日（土）に神戸大学グリークラブは、第 72 回定期演奏会を伊丹アイフォニックホールにて無事に開催できましたことを、この場でご報告させていただきます。たくさんのご来場、御礼申し上げます。

今回の定期演奏会は第 1 ステージにおいて、黒人霊歌より「When The Saints Go Marchin' In」「Swing Low Sweet Chariot」「Nobody knows de Trouble I See」「Joshua Fit The Battle Of Jerico」「Michael」の計 5 曲を演奏いたしました。黒人霊歌は男声合唱では定番となっており、様々な合唱団で演奏されています。人数が少ないということもあり、とにかく楽しんで歌うことを意識しました。黒人霊歌の特徴の一つでもある、独特のリズムの揺れを出すことが特に難しく、練習で何度も練習しました。「Michael」ではお客様の手拍子にあわせて演奏し、客席と一体になっていることが感じられ、とても気持ち良かったです。

第 2 ステージでは、さくらももこ作詩、相澤直人作曲のさくらももこの詩による無伴奏男声合唱曲集『ぜんぶここに』より 7 曲を演奏いたしました。さくらももこさんの詩の世界観をどのようにして表現するのか、少人数でも伝えられる演奏を披露するためにはどうすればいいのか考えながら練習に取り組みました。また曲ごとの歌い方の差がはっきりと表現できるように意識しました。

第 3 ステージでは、グリークラブの愛唱曲集より「秋のピエロ」「The song of soldiers」「サリマライズ」「赤とんぼ」「斎太郎節」を演奏いたしました。コロナ前は昼休みに愛唱曲集の練習をしていたのですが、オンラインでの授業になったため学校に来なくなり、愛唱曲集の練習もなくなっていました。そのため今回のステージに向けて練習を始めると、1 年も経っていないのですがなんだか懐かしい気持ちとなり、非常に楽しく歌うことができました。本番のステージでも楽しんで歌っている様子がお客様にも伝わったのではないかと思います。

今回の演奏会はコロナウイルスの感染がまだ落ち着いていない中、マスクをつけながら演奏する・座席の間隔を空ける・入場者の連絡先を把握するなどお客様にもご協力いただいて感染対策を万全に施すことでなんとか開催することができました。コロナ感染が広がる中、どうにかして開催したいと模索する中で演奏会を当たり前のように毎年、開催できていたことが本当はどれだけ幸せなことか、痛感いたしました。多くの方に支えられて演奏会を開催できることのありがたさを感じました。関係者の皆様、お客様への感謝の気持ちをもって、また来年の定期演奏会に向け邁進しようと決意いたしました。

第 72 回定期演奏会にて

本年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスによりオンライン授業が継続されたことで、大学に通うことができず、また対面での新入生の勧誘もままならなかったため、部員数の面では非常に厳しい状況が続いています。また部員のほとんどが 3 回生のためタイムリミットがすぐそこまで迫ってきています。なんとか新入生を一人でも入れ、部として存続できるよう精一杯努力する所存です。また授業の大部分がオンラインの状況でもなんとか練習を行い、定期演奏会に向けて頑張っています。全員が上回生ということもあり、忙しく全員が練習に集まれない日が多いですが、少ない練習時間の中でも心に響くような演奏ができるよう工夫をしながら練習を行っています。

12 月 18 日に第 73 回定期演奏会を灘区民ホールにて開催する予定ですので、足をお運びいただけたら幸いです

今後とも OB の皆様方には、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

２０１９・２０２０年度会計報告

2019・2020 年度会計報告

収入		項目	19 年度	20 年度
	引継	前年度繰越	109,145	22,774
	所得	部費	1,000,360	75,000
		寄付金	50,000	100,000
		育友会助成金	41,500	41,978
		行事参加礼金	50,000	0
		その他	0	20,368
	総計		1,251,005	260,120

支出		項目	19 年度	20 年度
	費用	練習場使用料	31,500	30,500
		合唱祭参加費	29,200	0
		合宿費	557,360	0
		ジョイントコンサート	198,000	0
		定期演奏会	167,000	131,400
		先生方御礼金	80,000	0
		お手伝い御礼	19,000	12,000
		楽譜代金	30,600	0
		会報製作費	16,400	0
		ホールキャンセル料	52,100	0
		渉外関連費	18,400	0
		雑費	28,671	33,220
		次年度繰越金	22,774	53,000
	総計		1,251,005	260,120

昨年度の会報でご報告できなかった 2019 年度の会計も併せて、ご報告いたします。

2019 年度会計を以上の通りご報告申し上げます　　会計　上田僚大朗
2020 年度会計を以上の通りご報告申し上げます　　会計　石橋怜也

寄付金の振込先

会報をご一覧頂き誠にありがとうございます。会報を発行し始めてから今年で 8 年目となり、毎年より良くしようと試行錯誤して作成しております。今後も、より良い会報を作成するために努力して参りますが、部員だけでは限界があるとも感じます

OB 様方から何か御意見等がございましたら葉書か OB 担当宛にメール等でご連絡頂けると大変嬉しく思います。また、近年現役活動をより活発にしつつも経費削減を心掛けております。夏にご寄付をお願いした際にたくさんのご支援を頂きましたため、当面の活動に必要な資金を確保することができました。誠にありがとうございました。今後のグリークラブの活動に役立てて参ります。

神戸大学グリークラブ口座
三井住友銀行六甲支店
普通預金 口座番号 3093489
神戸大学グリークラブ

コンピューターで振り込みをされる場合は口座名を半角カタカナで「 ｼﾝﾀﾞｲｸﾞﾘ- 」 として下さい。なお、「 - 」は長音記号ではなくハイフンなのでご注意下さい。

住所変更,お問い合わせについて

お手数ですが、住所変更された場合はハガキまたは電子メールで「回生、御芳名、連絡先、現住所」をお知らせ下さい。なお、電子メールで行われる場合は、件名に「神戸大学グリークラブ 住所変更届け」とお書き下さい。またお問い合わせに関しましては下記宛先までご連絡下さい。宜しくお願い致します。

ハガキ

宛先　〒657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学グリークラブ行

電子メール

OB 担当　ob.kobeunivglee@gmail.com